

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」茨木駅前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティション等で仕切りを作りスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	○		急な退職者が出たことにより、担当者を変更して対応している。	配置数は適切だが、公休によっては不安な日もあるため早急に人員補充を要望している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		トイレに幼児用便座を別に用意し、幼児も使用しやすいように工夫している。	入口の扉が開閉しにくい点、トイレの入り口が狭いため、一人しか入れないため、改善してほしい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		支援ごとに利用者様が過ごしやすいように空間の利用方法を変えている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			月に2回（月末月初）話し合いを行うが、公休の兼ね合いで不在の職員もいることから、全員での話し合いが難しい。回数を増やして全員が参画できるようにしていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		普段から保護者様とコミュニケーションを図り、意見を伺うようにしている。	月にお会いできる回数が少ない保護者様もいることから、全員からの意見を把握することが出来ていない。みなさんの意見を反映するため積極的にお話を伺うようにしていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		月2回ブログを更新し、常時閲覧できる状況にしている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		教室独自の研修会を設定するなどスキルアップの機会を確保している。	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			お子さんによっては固定化する場合もある。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		公休の兼ね合いで全員での振り返りが難しいため、掲示板を使用し共有している。	その日のうちに振り返りが行えなかった場合は翌日の午前中に行うようにする。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議の日程の調整をし、参画できるように工夫している。	児発管、担当者で参画するようになっているが、支援のスケジュールにより児発管だけの参画になることもある。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		連携することもあるが、全員に当てはまらないため必要に応じて連携していくよう努めている。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			○		医療的ケアが必要なお子さんがいない。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			○		医療的ケアが必要なお子さんがいない。

	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保育園、幼稚園に出向き、情報の共有を行っている。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		移行支援は行っていない。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○	必要に応じて連携し助言をいただいている。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	現在交流する機会が無い。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			○	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援の後には必ず保護者と話す時間を作っている。	必要に応じて事業所内相談支援等で共通理解をするようにしている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている			○	保護者向けの相談会や勉強会はしているがペアトレは行っていないため考えていきたい。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		適宜説明を行っている。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		小学校入学前には保護者のために相談会を開催している。	保護者同士の連携の場として機会を設けていないため、横のつながりを作れるような場を検討していきたい。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月2回ブログの更新を行っている。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○			

	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードや、ジェスチャーなどで情報伝達をしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民にきりりの存在はあまり知られていないことからオープンにする機会が少ない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルは職員全員が見られるよう作成している。	保護者に周知できていないため、いつでも閲覧できるよう工夫する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1回防災避難訓練を行っている。	訓練の日程を教室内に掲示し、いつでも見られるようにしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		てんかんに詳しい他校舎の職員に来てもらい研修を行っている。	服薬の内容が変わった際は、連絡いただいているが、予防接種等で体調に変化が無い場合は連絡いただいていた為、確認できるようにしていきたい。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事の提供を行っていない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを作成しているが、その場ですぐに共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		月に一度研修会を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		個別支援計画に記載し、説明、確認いただいている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」茨木駅前校

保護者等数（児童数）：12 回収数：8 割合：66.6%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8				広いスペースを使わせてもらっている。	お子さんの状況により、活動スペースを変えて取り組んでいる。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1		2		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6			2		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8				過ごしやすい	引き続きお子さんの過ごしやすい環境を作っていく。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7			1		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	1		1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7			1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	1	3		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6			2		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	1		2		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8				毎回話を聞いてもらえてありがたい。	支援後の振り返りで時間が足りない場合は、相談支援をさせていただいている。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1		2		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8				相談に乗ってもらえ保育所訪問してもらえてありがたい。	必要があれば、幼稚園、保育園にも訪問させていただき、様子を見学させていただき困りごとを共有させていただく。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	1		3	ホームページを見ないのでよくわからない。	ブログ等で校舎内の様子を発信していますが、周知されていない様子なので、お知らせしていく。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7			1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4			4	訓練をしているか知らない。	保護者様の閲覧できるようにしていく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			4	定期的に訓練をしているか知らない。	教室内に災害時の避難訓練について掲示しております。わかりやすい場所に掲示する。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8				毎回楽しみにしている。	引き続き楽しみにしていただけるよう、工夫していく。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	8					今後もご満足いただけるよう職員一同努力していく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。